【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成22年9月9日(2010.9.9)

【公開番号】特開2009-87029(P2009-87029A)
【公開日】平成21年4月23日(2009.4.23)
【年通号数】公開・登録公報2009-016
【出願番号】特願2007-255944(P2007-255944)
【国際特許分類】
Ｇ０８Ｂ　25/00　　(2006.01)
Ｇ０８Ｂ　25/04　　(2006.01)
Ｈ０４Ｍ　11/04　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０８Ｂ　25/00　　５１０Ｅ
Ｇ０８Ｂ　25/04　　Ｇ
Ｇ０８Ｂ　25/04　　Ｈ
Ｈ０４Ｍ　11/04

【手続補正書】
【提出日】平成22年7月27日(2010.7.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
監視区域の異常を通報する警備セットモードおよび前記監視区域の異常を通報しない警備解除モードの少なくとも２種類の警備状態を有し、前記警備セットモード中に異常を検出すると通報する警備装置であって、
前記監視区域に設置された複数の防犯センサから検知信号が入力されるセンサ信号入力部と、
前記監視区域に設置されて接点の変化を出力するスイッチ部と、
少なくとも遠隔解除信号を受け付ける受付手段と、
前記警備セットモード中に前記受付手段が前記遠隔解除信号を受信すると解除指令を記憶する解除指令記憶手段と、
前記警備セットモード中に前記解除指令が記憶されている場合は、前記複数の防犯センサのいずれかから検知信号を受信した後、第１の所定時間以内に前記スイッチ部の接点が変化したときに、警備状態を前記警備解除モードに設定するモード設定手段と、
を備えることを特徴とする警備装置。
【請求項２】
利用者の登録認証情報をあらかじめ記憶する認証情報記憶手段をさらに備え、
前記受付手段は、前記警備解除モードを設定するための現地解除信号をさらに受け付け、
前記モード設定手段は、前記警備セットモード中に前記監視区域の入館経路に位置する特定センサから検知信号を受信した後、第２の所定時間以内に前記受付手段が受け付けた前記現地解除信号が前記登録認証情報と一致する認証情報を含んでいれば、警備状態を前記警備解除モードに設定する請求項１に記載の警備装置。
【請求項３】
前記監視区域に設けられ利用者が認証情報と警備状態の移行操作を入力する操作部と、

利用者が携帯する利用者端末と通信する通信手段と、をさらに備え、
前記操作部は、前記警備解除モードの設定操作および認証情報の入力操作を受けると前記現地解除信号を出力し、
前記通信手段は、前記利用者端末から前記警備解除モードの設定信号を受信すると前記遠隔解除信号を出力する請求項２記載の警備装置。
【請求項４】
前記第１の所定時間が経過したとき、または前記第２の所定時間が経過したときに、前記警備解除モードに設定されていなければ異常と判定する判定手段を、さらに備える請求項２または３に記載の警備装置。
【請求項５】
前記解除指令記憶手段に記憶された前記解除指令は、前記警備状態が前記警備解除モードに設定されると消去される請求項１から３のいずれかに記載の警備装置。
【請求項６】
前記解除指令記憶手段に記憶された前記解除指令は、記憶後所定時間が経過すると消去される請求項１から５のいずれかに記載の警備装置。